



## 第26回 函館市核兵器廃絶平和都市推進事業「平和大使派遣事業」



本市においては、「核兵器廃絶平和都市推進事業」の一環として、市内中学生を被爆地である長崎市へ派遣する「平和大使派遣事業」を平成6年度から実施しています。令和元年度においても、市内中学生4名を派遣し、平和祈念式典への参列や青少年ピースフォーラムへの参加を行いました。



## 青少年ピースフォーラムへの参加

<令和元年8月8日>

## ① 開会行事・被爆体験講話

- 長崎市長による開会挨拶や、築城 昭平さんによる被爆体験講話を聴講しました。被爆者本人から直接体験講話を聴くことができる最後の世代だという自覚を持ち、同世代・次世代を担う若者たちに、戦争の悲惨さ、平和の大切さをしっかりと引き継いでいきたいと思いました。

## ② 平和学習

- 青少年ピースボランティアのガイドによる、原爆落下中心地碑等の被爆構造物の見学を通じて、長崎市の被爆の実相について学習しました。

## ③ 交流会

- 全国各地から集まった平和大使が、食事をしながら歓談し、函館市の枠を超えて相互理解を深め、異なる地域の特徴などを知ることができ、情操教育としても、大変有意義な機会でした。

<令和元年8月9日>

## ① 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列

- 函館市内の中学校や市民の方から寄せられた約32万羽もの折り鶴を平和祈念公園へ捧げ、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典へ参列しました。

## ② 意見交換会

- 全国各地から集まった平和大使がグループに分かれ、テーマに沿った意見交換を行い、争いの起こる原因やそれに対する解決策を話し合い、将来像をまとめ発表しました。



## 帰函してからの活動

<令和元年9月3日、4日>

## ① 報告会

- それぞれの平和大使が自校において、長崎市への派遣を通して感じたこと、思ったことなどをパワーポイントを活用しながら、多くの生徒の前で発表しました。

## ② 平和教育公開授業への参加

- 長崎市より大学生を講師として招へいし、目や耳を使った授業を行い、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さなどを学び、感じ取ったことについて感想文を書きました。



被爆体験講話の様子



平和学習の様子



交流会の様子



折り鶴飾付の様子



平和祈念式典参列の様子



報告会の様子



平和教育公開授業の様子